

第32回数学史シンポジウム

標記の研究集会を下記の要領で開催しますので、ご案内申し上げます。

主催 津田塾大学 数学・計算機科学研究所

世話人 佐藤文広（立教大学、津田塾大学 数学・計算機科学研究所）

中屋敷厚（津田塾大学 数学科）

日程：2022年10月15日（土）、16日（日）

場所：オンライン（Zoom）

プログラム

10月15日（土）午前

9:50 - 9:55 はじめに

10:00 - 11:00 金子 昌信（特別講演）
「多重ゼータ値」小史

11:20 - 12:10 神谷 徳昭
2次代数に附随したカンドルのある構成とその応用

10月15日（土）午後

14:00 - 14:50 河野 敬雄
明治期に日本人が理解した「至る所微分不可能な連続関数」

15:10 - 16:00 堀井 政信
Tendances d'aujourd'hui : de nouvelles possibilités d'interactions
(今日の傾向：相互作用の新しい可能性)

10月16日(日) 午前

10:00 - 10:50 田中 紀子、松原 望

不規則な運動に対する確率的表現についての一考察
— D.Mumford の視点を踏まえて—

11:10 - 12:00 佐藤 文広

チャクラヴァーラ (中世インドのペル方程式の解法) について

10月16日(日) 午後

14:00 - 14:50 宮田 義美

明治の数学と簿記